

一年の締めくくりの時期です

2月も後半になってくると、いろいろな締めくくりの時期になります。学習のまとめはもちろんのこと、学習だけではなく、生活全体を振り返って、自分たちを支えてくださっている方々への感謝の気持ちを伝える時期でもあります。

学校内では、一年間、平荘小学校の最高学年として、いろいろな場面で学校を支えてくれた6年生に対して、下級生が感謝の気持ちを伝えます。

また、地域の方々に対しては、6年生がリーダーシップをとって、平荘っ子から感謝の気持ちを伝えます。感謝の気持ちの伝え方はいろいろあります。自分を支えてくださった存在に気づき、『ありがとうございます』という気持ちをもつことが大事だと思います。『真心』が伝わるとうれしいですね。



両荘みらい学園 情報

- ミマモルメ（有料）の継続につきましては、引き続き利用ができます。業者の方で、校名変更をされるそうです。
- PTA 会員証につきましては、ホルダーはそのまま使います。両荘みらい学園開校の際には、中に入れる会員証のみを配付する予定です。
- 両荘みらい学園の校時表につきましては、先日お子様を通じて文書を配付しました。お確かめください。

《一年の締めくくり》

【本校の学校教育目標】

『自ら学び続ける 心豊かな 平荘っ子の育成
～人間尊重の教育を基盤にすえて～ 』のまとめです。

《「…其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」(論語)》

☞生きていく上で一番大切なことを一つのことで言うとしたら、それは『思いやりの心』です。自分が人からされていやだなと思うことは、人にはしてはいけません。いつも相手を思う、いたわりの心を持ちましょう。

☞孔子は、弟子に「人生で一番大切なことは何ですか？」と聞かれて、『思いやりです』と答えています。

『思いやり』とは、自分がされていやなことは、人にしないことだと言っています。

もし自分が意地悪されるのがいやだったら、人にも意地悪をしないようにしましょう。嘘をつかれたり、悪口を言われたりするのがいやだったら、自分はそうしないようにしましょう。いつも『自分がやられたらどうだろう?』と考えて、してほしいことをしてあげて、いやなことはしないようにしましょう。

《「我れ仁を欲すれば、ここに仁至る」(論語)》

☞自分から『仁』という目標を求めれば、すぐ目標に手が届いてしまうということ。

目標を立てた時、それがものすごく遠いものだと思うと、「自分には無理」と感じてしまう。でも、「今やろう」と決心すれば、完璧にはいかないけれど、すぐにできるものなのです。例えば、『仁』っていうのは『思いやり』という意味ですが、『仁のある人になる』という目標を達成するのは、とても難しい感じがしますが、「今やろう」と思えば、すぐにできるのです。

『思いやり』があることをしようと思って、自分の周りを見回せば、それを発揮する場所はどこにでもあります。だから、目標は遠くにあるものではなく、やろうと思った時に、すぐにできるものなのです。

平荘小学校にも どんどん春が訪れています



ウメ



ユキヤナギ



スイセン



サクラ